

陸 舞 ○ 陸 舞 舞 ○ 舞 ○ 舞 陸 陸 舞 陸 ○  
 斗 斗 斗 斗 斗 斗 斗

玄 陸 出 舞 同 舞 で 陸 陸 驚 電 舞 同 舞 時 力 高 新 に 舞 つ そ 置 寝 病 個 △  
 関 ホ 斗 て ホ 、・ 本 髪 斗 も 斗 い 気 、・ 計 陸 バ 村 山 告 ね ど 、顔 な な て の か 転 床 室 △  
 が 笑 行 少 椅 リ 陸 当 の を う て 陸 を ド 洗 を 斗 ナ 舞 宅 白 え う 涙 あ あ い 横 れ ん で の 病  
 開 い 舞 く し 子 ビ 斗 に 毛 押 舞 、 斗 付 ア 面 見 、 を ホ 、 し 、 し を 見 に ル で て で は 病 室  
 い な を ° 怒 に ナ を 、 を し 時 の 後 を け を 所 て 早 椅 2 リ た あ た 流 せ ? ° は い お 、 室 、  
 て が 追 り 置 グ 睨 お 整 退 間 反 退 見 ず 開 ハ 、 く 子 5 ビ 日 な ? す て ル 、 る り 新 ° 8  
 、 ら い 気 い ノ み も え け 無 応 り て に く 夕 洗 し に ナ ン の た ル ° く 新 ° 、 山 1  
 閉 ハ 味 た 夕 、 し る て い を す ド と 方 面 て 置 、 グ こ 覚 れ 山 横 陸 0  
 じ そ け に 力 方 電 ロ ° 、 の 見 る う ア 、 所 ! く 憶 ハ と え な 舞 に 斗 号  
 る ん て バ 気 い 電 に て ° わ の 新 に ° た 夕 ル て い は ハ 室  
 音 な 、 早 ナ を な 気 や 笑 つ 前 山 向 も だ 方 る か 8 心 8 ( 夜 )  
 が に く を 消 あ を め つ ! に 陸 か う し 、 ? ? ル 3 電 5 図  
 す 怒 行 持 し 付 て て ル 立 斗 う 、 く 以 、  
 る る く つ て け よ い つ ル ° 時 入 下 あ 、 モ  
 ° な で て 出 る て 2 間 つ 回 な 椅 二 仰  
 よ て 、 行 鏡 ° い 7 ! て 想 た オ  
 お く の る ル ° 、 来 、 私  
 ル 前 。

ス ピ	ス ピ	陸 斗	○	○	○	○	陸舞 斗
ンにス×ン観ダス前觀す	「ス陸同	ト入ッ舞で陸	ラ	陸口	ン右リ	「なボリト	テンを陸
立ビ	客ヘビ奏客るあテ斗・	プリト	、や斗イ	斗口	にポン分	何いンン	にいグ漁斗
最つん	みた1ンがたとぶ」と同	ヘ口をスつと	ブ	と駅	入ケグ	かし。	のグ入るケり、
後て、×	んち8終ち、ねジ舞ヘ	紡横見マて舞	ハ	舞・	れッケ	って玄ポケレ。	」、「壁
のいマ	なの2わ、暗えは、夕	がのせホ来	ウ	、前	、ト	てん関ケ	るケス中際
曲るイ、	「歓の1り歓闇」ま入方	れ看	、をる少	ス	駅道	力にス	るのがツスが」をかに
に。ク	今声3「、声のだつ」	る板中出	。し・	か路	バ入かつ?	開トを	、ス開ら置
行く	日、人、スをま暗て	恋ににし	息觀	らへ	ンれらて	くに内上	をくりか
持	はきのヒテ上まい来	一は入、	を客	小夕	を、指	早音入	ボ着閉とンれ
前	あら女ラしげ、	、るス	切席	走方	持リ輪	くがれケ	はじ、「グて
つ	りに性トジる音	の地	。タ	ら・	つンを	しすよ	ッ不、中ケい
、	が大、」が。樂	ボ下	ッ	し前	てグ出	てるうト	自上に「る
ス	とき出2明が	スア	フ	出	出ケし	」。	とか然着はス自
テ	うくて0る流	タイ	に	なへ	て	すらに	の指を分
今	「なくくられ	トド	電	が夕	て」、	するだ	膨内輪出の
日	るる、な始	がル	子	ら方	行スズ	がしら	がすカ
は	。°。プリ、め	あグ	チ	小	くをボ	入、む	ケ入。バ
み		るル	ケ	走	。カン	ラズ	。ツつリン
ん							
な							
な							



舞　　舞 ○ 陸　　陸　　舞　　陸　　舞　　陸　　舞　　陸　　舞　　陸　　○ ○  
 斗　　斗　　斗　　斗　　斗　　斗　　斗　　斗　　斗　　斗  
 陸盛 一 陸笑 一 舞△ 一 舞着 一 を陸 一 舞 一 陸 一 ポ 一 舞ポ 一 舞 一 舞陸の街川 少舞同  
 斗大 へ 斗つ死 、△ 死 、けい持斗 へ 、へ 斗絶 へ 本ケで 、ケ違 へ 、舞 、斗声灯沿 し 、・  
 のな途 、てぬ陸病 ぬ陸るつづ 、少陸真 、対真当 ツも陸 ツう泣立 ! 歩 、 一 のい し泣前  
 手ド切舞死前斗室 前斗かかて舞し斗剣力に剣なト 、斗トんきち 一 き走舞下 、 てき へ  
 をツれのねにの・ にのら 、 、を笑ににバ 、 にのをポをにだな止 続つ ! 、道 、な夜  
 額キる顔る見手 8 見手 、こ空後 つ背 一 ソン本 一 ? ひケ見指 、がま けて 一 舞 一 陸が  
 にリよをつるを 1 るを結のにろてをこか当 一 つツる輪本らつ て来 、夜 斗ら  
 つなう見て顔握 0 顔握婚満あか 一 向んら ? れ くト 、を当 一 て いる ト 、走  
 けんなて 一 がつ号 がるし月るらバけなり 一 は りに 入に何 、 る 、ボ 出り  
 るで声微 君て室 君 、よよ満抱力 、予ン 、 返穴 れ告よ 。 トボ て去  
 、しで笑 の 、 一 の うり月 きじ 定グ 本 し空 て白 一  
 ょ 一 む だ 夜 だ 一 もにしや じケ 当 てい たし  
 ? ね 、 つ 一 つ 大薬めな や 一 だ 、て のよ  
 え た 一 た き指 、い なス 一 穴て にう  
 : ら 一 ら なを舞の かを 一 を 一 と  
 : これ 一 : 指重の? つ出 一 見 一 思  
 も 僕 一 左 輪ね左 一 たし 一 せ 一 つ  
 、 は 一 を 、 一 る 一 て 一 、